



# 園長だより

NaKo R8.2.16 (Sun)

新聞に、こんな記事が掲載されていました。

## 「挑戦こそ褒めたたえよう」

子育てに関するアドバイスは世にあふれていますが、中でも「できたら褒めてあげましょう」というフレーズをよく耳にします。これも悪くはないのですが、出来たらの前に、「やりかけたこと」を褒めていただきたいのです。「取りかかったら応援する」とことと「できたときに褒めすぎない」とことも大切です。成功したときには子どもなりに達成感や満足感を感じています。逆に失敗した時こそ大人の出番です。「ナイス drauf!」とか「チャレンジしたのが、かっこよかった!」など、大人が「挑戦」と「挑戦した証拠として失敗」を歓迎しているというメッセージを積極的に出しみましょう。テストで100点を取った子どもには、「どんな気持ち?」とたずねてみたり、50点のときには、「頑張ったね」「難しいような問題も解こうとしたんだね」と声を掛けてみたり。達成を求める事も大切ですが、挑戦と失敗を怖がらない子の方が、育てている大人はだんだんと楽になります。達成できる子より挑戦したがる子どもを思い描きながら働きかけてみてはいかがでしょうか。



この記事を読んでつくづくその通りだな〜と!!!

達成した時には勿論、その努力は賞賛しますが、やはり私はやろうとした事、やった事、やった過程が何より大切だと思います。園でも、縄跳び、

逆上りなど可視化しやすいことあれば、着脱やトイレトレーニング、片付けも然りだと思ひます。

①「上着が着れない〜」と片手は通せたものの止ってしまっている子。

「頑張ったね、よくここまで出来たね、じゃ〜もう片方は一緒にやろうね」

② トイレでは、トイレに貼ってある新幹線にタッチし排泄は出来ていないけど

園では、それぞれ好きな(個別に)キャラクターを貼っています。

(ディズニーのキャラクターや電車など)

「トイレに来られたね! 偉いね! トイレさん、いつも待っていてくれるよ!」

成功には至ってなくても、日常には「やろうとした事」「やった事」「やった過程」が溢れています。そんな視点でご家族でもちよと、お子様の頑張ってるポイント、必ずあると思うんです。是非見逃さず、駆け寄り、口に出して、「偉いね〜」「やってるね〜」と、タイトルにもありますように、「挑戦こそ褒めたたえよう」を実行してみて下さいね。

園でも、職員一同で子ども達の頑張りを「今日も〇〇ちゃん、鉄棒やっただですよう」「偉いね〜」と、常に共有し、「挑戦」「やろうとした事」を褒めたたえていきます。

なんでも声を掛けていきます!